

4. 重点的に実施する事業活動

(1) 重点的・優先的に取り組む活動

本計画第3章における「基本理念」及び5つの「基本方針」をふまえ、8つの取り組むべき「具体的な事業活動」を設定し、本編第4章1～8においてそれぞれに取り組むべき事業活動を計画化しました。具体的な活動のこれらの展開は、国が示す「我が事 丸ごと 地域共生社会づくり」を展開するための基盤となる地域福祉推進の中核的な取り組みであり、地域住民が主体となる地域福祉実践のはじめの一歩となるものです。

そのなかでも、とりわけこの3年間に福生市における地域福祉活動の基盤強化を図るために優先的・重点的に取り組むべき事業活動として、次の3つの事業を設定し、計画年度毎の実施・到達目標を定めています。



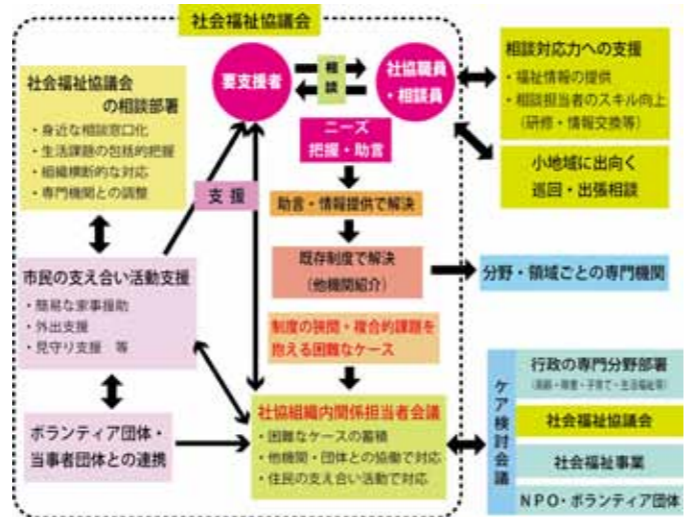
(2) 3年間の重点実施計画

1) 相談援助体制の構築

住民の多様な生活課題を解決するためには、相談の初期段階での的確なニーズ把握と家庭訪問などのアウトリーチによるきめ細やかな情報提供が必要です。

また、相談者の要望と必要に応じ丁寧に他の窓口や関係機関へつなげるなど、サービスの提供や支援できる体制づくりが求められます。福生市社協が実施している多様な相談支援活動の「強み」を活かし、相談窓口間や関係機関との連携を強化し、率先して相談者の立場に立った相談支援体制の構築を目指します。

社会福祉協議会と相談支援



2) 小地域福祉活動のあり方の研究

これからの、小地域福祉活動を推進していくにあたり、先進自治体等の地域特性の分析、小地域福祉活動の地理的範囲（福祉圏域）の設定、展開すべき活動や実践者・担い手、小地域福祉活動における「地区担当制」の検討など、福生市における地区社会福祉協議会の組織化に関し、調査研究を行います。

3) 福祉教育プログラムの開発

地域の中で実際に行われているボランティア活動や地域での福祉問題に焦点を当て、自分たちの地域や日常生活から福祉を学ぶことができるプログラムづくりを推進します。

第4期 福生市地域福祉活動計画

ささえあいプランふっさ

概要版

近年、急速に進む少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの多様化などにより、近隣との結びつきや地域社会との関わりが希薄化する中で、地域福祉を取りまく社会環境は大きく変化し、地域住民の抱える生活課題が多様化・増大化の一途をたどっております。

そのような情勢の下、すべての人が、住み慣れた地域の中で、安心して明るく心健やかに暮らし続けたいという願いを実現させていくためには、子供からお年寄りまで、障害の有無にかかわらず人と人との「福祉の心」の繋がりを大切にした取り組みを展開し、幅広い市民・機関・団体の方々と手を携えながら、地域を構成する誰もが主役となって、人と人とのつながり・支えあいのあるまちづくりを推進することが重要です。そこで福生市社会福祉協議会では、地域福祉活動の一層の充実を目指して、「第3期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプラン）を継承しつつ、新たな視点に基づく“ささえあいプラン”「第4期福生市地域福祉活動計画」を策定しました。

すべて市民の皆様と一緒に、福生市の地域福祉を豊かなものとしていくために今後ともたゆまぬ努力をしていきたいと思っております。



発行 平成30年(2018年)3月
 社会福祉法人 福生市社会福祉協議会
 東京都福生市南田園二丁目13番地1 電話 042-552-2121 FAX042-553-7532
 ■ホームページ <http://www.fussashakyo.or.jp>



平成30年(2018年)3月
 社会福祉法人 福生市社会福祉協議会



1. 計画の期間

本計画の計画期間は、平成30年（2018年）4月1日から平成33年（2021年）3月31日までの3年間とし、平成33年度（2021年度）からの「第5期福生市地域福祉活動計画」は、福生市が策定を予定している「次期福生市地域福祉計画」と一体的に策定することを目指します。

2. 基本目標

「第4期福生市地域福祉活動計画」の基本理念を実現するため、「新・社会福祉協議会基本要項」における社協活動の原則をふまえ、市民及び事業者等が具体的な地域福祉活動を戦略的に展開するための働き（機能）を整理し、第4期福生市地域福祉活動計画における基本目標を次の5つとします。

(1) 気づき 調べる

地域に存在する個別の生活課題や福祉ニーズをもれなく見逃さず、また、福祉サービスを必要として利用している人々の意向・要望を把握する働き

(2) 認めあい 学び育ちあう

誰もが認めあい、理解しあう。そしてすべての市民が福祉問題に気づき、関心と理解を高められ、共に育ちあうための学びから地域社会（福祉コミュニティ）を形成する働き

(3) 知らせ 広める

さまざまな福祉制度の周知や利用促進、公私の社会資源の活用、地域福祉活動の現状等をきめ細かく丁寧に知らせ（報せ）あう働き

(4) つながり 支えあう

福祉を必要としている人々の求めと必要に応じ、合意のもとで、市民や事業者等が連携・協働し、地域自立生活を支えあう働き

(5) 活動を見直す

地域福祉活動計画における地域福祉活動や既存の諸活動の成果や課題を明らかにし、たえず生き活きとした地域福祉活動を推進する働き



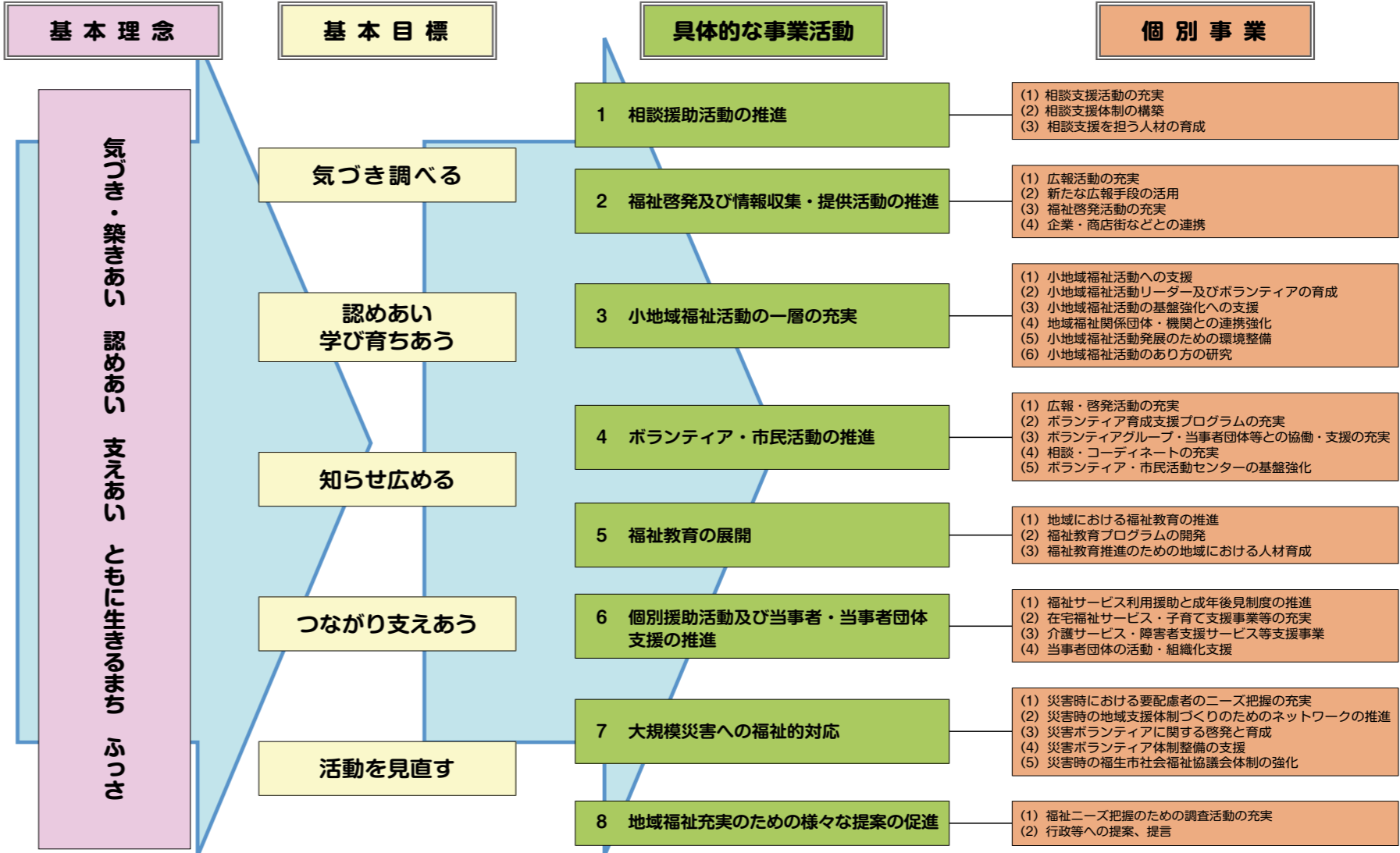
福丸（ふくまる）

3. 基本理念

「地域福祉活動計画」における理念は、地域住民や福祉・保健等の関係団体・事業者が協働して主体的に地域福祉活動に取り組むための共通の考え方や認識、また、地域福祉活動計画が目指す方向性を地域住民に理解しやすく、かつ分かり易くあらわすことが求められます。そこで、第4期福生市地域福祉活動計画の基本理念を次のとおり定めます。

「気づき・築きあい 認めあい 支えあい
ともに生きるまち ふっさ」

第4期福生市地域福祉活動計画の体系図



☆福丸は、福生市社会福祉協議会のイメージキャラクターです。

●第4期福生市地域福祉活動計画書の本編は福生市社会福祉協議会のホームページでご覧いただけます。